

令和5年度

宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査
全国体力・運動能力，運動習慣等調査

報告書

子供たち一人一人の体力向上のために



令和6年3月
宮城県教育委員会

はじめに

各学校並びに関係機関の皆様には、日頃から児童生徒の体力・運動能力向上及び健康教育の充実と、学校や地域の特色を生かし、自ら運動に親しむための様々な工夫を通して、子供たちの体力づくり、健康づくりに取り組んでいただいておりますことに感謝申し上げます。

今年度は、日本が「ワールドベースボールクラシック」で世界一となる原動力となった東北出身の大谷翔平選手の活躍や、仙台育英学園高等学校硬式野球部の夏の甲子園大会2年連続決勝進出、都道府県女子駅伝での宮城県チームの29年ぶりの優勝など、子供たちにとってスポーツに対する興味・関心が高まる機会が多くありました。スポーツに対する子供たちの関心や意欲が高まることは、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けての礎となるものです。

さて、本県の体力・運動能力の実態把握は、昭和39年度から抽出校を対象に行い、データの蓄積と分析を行っていましたが、平成18年度からは対象を全児童生徒に広げ、より正確な実態把握と分析を行い、報告書にとりまとめております。

本県の児童生徒の体力・運動能力の状況は、昨年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により低下の一途をたどっていましたが、5年ぶりに、対象となる小学校5年生男女、中学校2年生男女で向上が見られました。体力・運動能力の更なる向上のためには、児童生徒が楽しいと感じる体育の授業を充実させてやる気を引き出すとともに、日常の運動機会の創出を図る学校の環境を整えること、さらに学校だけでなく家庭や地域への働き掛けなどを進めることが重要と考えております。

県教育委員会では、今年度より体力・運動能力向上センターを立ち上げ、その事業を通して対策を進めるとともに、関係機関等の皆様との連携を深め、各種研修会等の充実を図っていきますので、より一層の御協力をお願いいたします。

結びに、本調査の分析業務を担当していただきました宮城教育大学黒川修行教授をはじめ、保健体育講座の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、私たちの取組が、子供たちの将来の健康と豊かなスポーツライフにつながることを願い、挨拶とします。

令和6年3月

宮城県教育委員会
教育長 佐藤 靖彦

目 次

I 「令和5年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査」結果について

1	令和5年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査 平均値一覧	1
2	校種別の令和5年度と令和4年度との結果比較	2
3	校種別の令和5年度と平成30年度（コロナ禍前）との結果比較	3
4	課題となる種目の推移	4
5	中期経年比較（平成20年度～令和5年度）〔小5・中2・高2男女〕	7
6	まとめ	8
	【参考】令和5年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査実施要項	9
	【参考】令和6年度における男女別・年齢別の各種目標値の設定について	10

II 「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（宮城県分）」結果について

1	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要	16
2	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 宮城県の結果のポイント	17
3	体力合計点の推移（宮城県全体）	18
4	体力合計点の推移（仙台市を除く）	19
5	種目別の状況（全国平均値・令和4年度との比較）	20
6	種目別の状況（平成30年度との比較）	22
7	一週間の総運動時間の状況	23
8	運動やスポーツに対する意識	24
9	食事・睡眠・スクリーンタイムの状況	26
10	学校による授業以外の取組状況・活動の内容	29

III 課題と取組

課題と取組	31
令和6年度に向けた取組について	32
令和6年度体力調査に向けた取組について	34
体力・運動能力調査結果の有効活用のために	36
保健統計調査、体力・運動能力調査結果一覧表について	38
体力・運動能力調査結果に係る個人表彰の実施について	39
体力づくり・健康づくりチラシ	40

IV 事例紹介

体力・運動能力向上、健康課題に向けた取組事例の紹介	44
小学校の取組事例	45
中学校の取組事例	53

V 参考資料	60
--------	----